

県民との協働による都市に残された  
貴重な谷戸環境の保全と活用、次世代への継承

# 県立座間谷戸山公園 平成23年度実績報告書



公益財団法人 神奈川県公園協会

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

事業計画書の内容			実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
1 施設の設置目的を踏まえた総合的な管理運営方針										補足資料 ページ番号
県民との協働による里山の自然環境の保全		県民や市民団体との協働、関連機関との連携による環境や生物のモニタリングと保全活動の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	運営会議構成市民団体と協働し、ホタル生息数調査・生息環境整備、カエルの卵塊調査・生息環境整備、山野草生育調査などを継続的に行った。また、オオタカの営巣地保護活動の強化を図った。	運営会議団体と協働して継続的にデータを蓄積し、維持管理に反映していく。南谷戸田造成地やわきみずの谷新設水路など新たなモニタリングや保全も行っていく。	1～8
		座間谷戸山公園運営会議やボランティアによる里山保全管理活動のサポート	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	園路沿いの貴重な植物自生エリアの保全、ホタル生息環境の手入れ、南谷戸田の維持管理、外来生物の駆除等の活動の実施やサポートを行った。また、高齢森林の更新地についてモニタリングを行った。	引き続きサポートを行い、里山環境の向上を目指していく。	1～8
		運営管理マニュアルに基づいたエリア毎の管理運営の推進	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	各ゾーンエリア毎の管理方法については、生物の生息環境などに配慮した作業の適期などを運営会議で随時討議し、維持管理に役立てた。	エリア毎に環境変化などを見守りながら、管理マニュアルに基づく適切な維持管理方法について検討していく。	7～8
豊かな自然環境を活かした絆の育成		豊かな自然環境を管理保全、発信し、次世代に残す人材の育成	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	年間で公園主催イベントを77回実施した。その他、やとやま講座を全7回実施し里山の大切さの理解普及に努めた。	やとやま講座を引き続き行うとともに、ネイチャーゲーム、ビオトープ研修等と連携を強化する。	9～11
		里山の環境、暮らし、文化を体験し、学ぶ機会と場の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	親子で昔ながらの米作り体験をするイベント、里山の樹林の手入れ作業等を継続して行った。また、椎茸のホダ木作教室を伐採木を利用して行った。	里山を体験できる椎茸のホダ木づくり、クラフト教室、むかしばなしの会、雑木林管理など様々なイベント等を企画していく。	9～11
		イベントやボランティア活動への参加を通じたコミュニケーションの場づくり	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	各団体の活動のほか「公園まつり」や「おたまじゃくしプロジェクト」など団体同士が協働で取り組む活動を行い、コミュニケーションを図った。	継続的なイベント開催に加え、新たなコミュニケーションの場の提供を検討していく。	5、 9～11
利用と保全のバランスのとれた魅力ある公園づくり		都市公園としての適切な維持管理や安全管理、利用促進の推進	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	自然環境保全に配慮しながら、危険な古損木等は剪定・伐採による安全管理を行った。	引き続き自然環境保全に配慮しながら、安全管理などを行っていく。	12
		バリアフリーや健康に配慮した公園づくり	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	一部の園路舗装を県土木が行ったのを受けて、バリアフリーマップの改正など、普及PRに努めた。	園内各エリアで段差のある箇所や滑りやすい木道等を順次改善してバリアフリー化を図り、バリアフリーマップに反映する。	12
		観察林や田んぼ、里山体験館などを活用し、里山の魅力を学び、楽しめるプログラムの開発	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	やとやま講座（全7回）を開催し森、小川、池などを活用して里山の魅力を学習した。	やとやま講座は内容を検討し、引き続き実施する。	9
		公園の将来像を見据えた自然環境の保全と都市公園としての利用バランスの維持	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	里山の環境保全、管理のあり方を運営会議等で議論した。	樹林地整備地区を活用したイベントなどを検討する。	7～8
利用者の平等な利用の確保		年齢・体力・障害などに関わらず平等な利用を検討し改善に繋げる。	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	バリアフリーマップを改正し、利用しやすいルート設定とした。また、木道の滑り止め等も整備した。	様々な利用に対応し、平等利用を進めていく。	12
利用者や地域住民等に配慮した管理運営		利用者からの声を受け止め、反映し、信頼される管理運営	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	アンケート調査や日頃から寄せられる生の声を受け、管理運営に反映させた。伝説の丘からの丹沢の山並み看板の設置の要望があり、設置し、多くの反響を得た。	利用者からの声を大切にして管理運営につなげていく。	17
環境に配慮した管理運営		省エネルギー対策： 節電・節水・アイドリングストップ等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	照明の間引き、井戸ポンプ運転時間の短縮等節電を図った。またログハウス池の水道を絞り、ドラム缶の雨水槽を設置して対応し、節水した。また、県土木による池底のコンクリート打ちにより水漏れ防止がされた。	常に意識して省エネ対策に努める。	12
		ゼロエミッション対策： 落ち葉の堆肥化・グリーン購入・ゴミの分別処理等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	落ち葉を堆肥化し、花壇ボランティア活動等に役立てた。間伐材を加工してベンチやデッキ補修等に有効活用した。	園内発生植物等は堆肥化、樹木看板、注意看板など無駄なく利用し、新たな利用法も検討していく。ゴミの分別等は継続して行っていく。	12
		環境教育： 自然観察会などの体験活動実施・PR活動	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	定例の自然観察会ややとやま講座を開催し、市民参加を促進した。	自然観察会ややとやま講座等を通して市民へのPRに努める。	9

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

事業計画書の内容			実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
2 本公園の管理に向けた参加意欲及び抱負等										
本公園への認識の深さと熱意を持った谷戸環境の持続的な保全	希少な動植物の把握と保護・保全	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	運営会議団体等と協働しての生物モニタリングを継続して行った。また、オオタカの営巣地保護活動を行い繁殖に成功した。	環境の変化に注意を払いながら、モニタリングなど情報の蓄積を継続し、保護・保全に活用していく。	1～6	
	生物多様性への認識と運営会議、利用者との協働による保全	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	園路沿いの貴重な植物保護において、運営会議団体との協働で保全作業を行い、植物名看板の表示等で他の利用者への周知とその価値の共有を図った。	新たに保護エリアを設置し、保全に努め、利用者との認識の共有を図る。	6	
	園内の自然環境や動植物の保全・保護活動を行う 県民、市民団体との協働、サポート	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	ホテル水路、カエル沼等の生息環境保全作業を市民団体と協働で継続的に行った。	引き続き積極的にサポートをしていく。	1～3	
	多様な公園利用ニーズの把握と利用調整	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	アンケートやメール、口頭の要望・苦情等についてはその都度利用調整を行った。自転車の禁止や徐行看板を設置するとともに、犬の糞対策として小看板等により意識喚起に努めた。	ジョギング、飼い犬、禁煙、自転車乗り入れ等に対する一般利用者との利用調整は継続して行いマナーアップを図っていく。	1 2	
保全と利用のバランスを図りながらの公園の活性化	「自然生態観察公園」としての利用にも配慮した管理運営	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	観察できる場所にある植物は、種名看板で表示し、観察を促進した。	新たな生き物観察エリアの創出や、現在の各エリアにおいても観察できるスポット作りやタイムリーな生き物情報の表示など観察利用促進を図る。	6	
	都市公園としての様々な利用形態に対応した新たなサービスの提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	「自然生態観察公園」としての位置付けを考慮した新たな利用者サービスとして、座間市図書館と共催で、森の学校を利用した「森のおはなし会」を実施した。	引き続き継続するとともに、新たなサービスの提供を検討していく。	9	
	様々なイベント、プログラムの展開によるパークセンターや里山体験館、ログハウスの利活用	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	新たなやとやま講座（全7回）を開催し、パークセンター等を活用した。特にむかし話の会では里山体験館にある囲炉裏を囲んで行い好評だった。	今後もプログラム内容の充実を図る。	9	
	人材育成の場として研修会場等としての活用	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	やとやま講座（全7回）を実施し里山の大切さの理解普及に努めた。また、樹林地整備地区を活用し、ピオトープ研修グループによる研修を行った。	やとやま講座を引き続き行うとともに、ネイチャーゲーム、ピオトープ研修等と連携を強化する。	5, 9	
3 本公園における特性と課題を踏まえた維持管理の考え方										
本公園の特性と課題を踏まえた維持管理	運営管理マニュアルに基づく、植生タイプに応じた維持管理	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	昆虫の森や野鳥の原っぱなどそれぞれの植生タイプに基づいて、除草や草刈り等の維持管理を行った。また、樹林地整備地区について、萌芽状況のモニタリングや下刈りを行った。	環境・生物モニタリング結果を見ながら、目標環境に向けた維持管理を継続していく。また、樹林地整備について、県へ実施要望するとともに、協会としても取り組みを検討する。	5, 7	
生物モニタリングからデータの蓄積、維持管理への反映までの一連のシステムの確立	市民団体と協働した生物のモニタリング調査の継続	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	運営会議団体と協働して山野草生育調査、ホテル生息数調査・生息環境整備、カエル産卵調査・生息環境整備などを継続的に行った。また、整備したみちくさ広場の生物モニタリング調査も継続した。	運営会議団体と協働して継続的にデータを蓄積し、維持管理に反映していく。南谷戸田造成地やわきみずの谷新設水路など新たなモニタリングや保全も行っていく。	1～6 1 8	
	公園管理システムを活用した電子データによる蓄積の継続	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	貴重な植物の位置や里山保全ボランティアの作業状況など随時更新し、蓄積に努めた。	継続的なデータの蓄積により、変化する自然環境を把握していく。	1～8	
	蓄積データを反映させた生物に配慮した維持管理を実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	位置データを基に、植物自生地を保護しながら里山保全隊作業や直営による管理作業を行った。	新たな場所に生えてくる植物や野鳥の営巣地など、データを更新しながら維持管理に役立てる。	1～8	
ボランティアとの協働による効果的な維持管理	里山保全ボランティア「里山保全隊」による雑木林管理等の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	月1回の定例ボランティア活動を行い、里山の環境の維持管理を行った。	樹林地整備地区の伐採後の下刈り等を市民団体と協働で行うとともに必要な捕植を検討する。	7～8	
効率的・効果的な維持管理のための取組み	集約発注や公募型提案方式による業者選定、季節に対応した柔軟な人事配置	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	集約しての発注や公募により経費節減に取り組むとともに、夏季の繁忙期に現場パートを増員した。	今後も効率的な維持管理に取り組んでいく。		
ゼロエミッションへの取組みによる植物管理	カントリーヘッジとして生物の生息空間の創出	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	維持管理で発生した枝、葉、間伐材等はカントリーヘッジとして園路沿い等に積上げ、生物のすみかとして創出した。	今後もカントリーヘッジの維持補修を継続する。	1 2	
	枯損木・剪定枝のチップ化、落ち葉・植物ごみの堆肥化	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	枯損木・剪定枝のチップは園内に敷くとともに、落ち葉や植物ごみは堆肥化し花壇に利用した。	落葉等の放射能測定は随時行い、利用者の安全安心に努める。	1 2	
	除伐や間伐の発生材の薪やテーブル、イス等への活用	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	大径木は板材への加工やイス、テーブルとして活用し、低木間伐材は水路の杭や枝柵として活用した。	今後も園路等の補修材や、クラフト材料などに有効活用していくとともに椎茸作りなども検討する。	1 2	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

事業計画書の内容			実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
5 執行体制の内容										
	本部と現地の役割分担	本部に統括管理部門を、現地に公園管理事務所を置き、方針決定や総務・会計及び業務執行等並びに県や関係機関との連絡調整などの重要事項は現地事務所と本部が連携して適切な管理運営を実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	日常の連絡調整や定例の園長会議等の開催により、公園管理事務所と協会本部が連携を図り、適切な管理運営業務を実施した。	PDCAシステム会議や外部特別指導員等による業務点検など、協会全体で実施する事業も引き続き取り入れ、本部と調整を図りながらコスト削減に努め、効率的・効果的な管理運営を遂行していく。	
	現地の職員配置	公園の統括責任者である園長の下、公園管理運営スタッフが一体となった業務の遂行	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	統括責任者としての常勤園長の下、スタッフが一体となって管理運営業務を遂行した。	園長を統括責任者としたスタッフ体制により組織の円滑な推進を図っていく。	
	業務の一部委託	事業計画書の「委託業務予定一覧表」に基づき、スタッフの安全面や効果性、効率性の観点から一部業務の外部委託を実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	園内警備業務や清掃業務、高木伐採等を外部委託により実施した。	公園協会の規程に基づく委託業者選定・チェック・指導監督を適切に行い、安全で効果的な委託業務の実施に努めていく。	
6 緊急時の体制										
	事故や災害発生時などの緊急時の体制及び初期対応	事件、事故発生の場合	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	公園職員が迅速に現地確認・対応を行い、関係機関への連絡と事後処理などを行った。	今後も迅速な対応を行っていく。	1 3
		大雨、暴風、落雷、大雪等による災害発生が予測される場合	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	台風15号により倒木被害が多数あったが、危険個所の通行止めや緊急除去等安全確保に努めた。	いち早い情報の収集に努める。	
		大雨、暴風、落雷、大雪等による災害が発生した場合	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	台風15号により倒木被害が多数あったが、危険個所の通行止めや緊急除去等安全確保に努めた。	今後も気象災害に備えたスタッフ体制、連絡体制を今後も維持していく。	
		大地震が発生した場合	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	東日本大震災の教訓を踏まえ、土木事務所と想定訓練を実施し、携帯電話の専用メールを使用して実施した。	大地震に備えたスタッフ体制、連絡体制を今後も維持していく。	
	災害時に備えた日常対応	朝礼やミーティングを通じて日常より情報の共有、意識の統一	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	毎朝の朝礼や、月1回のスタッフ全員のミーティングを通じて情報の共有、全員の意識統一を図った。	日常のスタッフ間の情報伝達を円滑に行い、災害時に備えた意識統一を進めていく。	
		管理事務所内へのAEDの常備	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	パークセンター、里山体験館にAEDを設置し、定期的に装置の点検を行った。	引続きAEDを常備するとともに、点検、作動方法のスタッフ講習を行っていく。	
		防災訓練、救命講習の年1回以上の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	未受講者は救命講習に参加するとともに、座間市安全防災課の協力を得て大震災に備えた訓練を行った。	未受講者等を重点に受講を促進し、救命技術のレベルアップを図る。	
		防災設備の定期稼働点検	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	重点的に点検を行い、古くなった消火器の更新を行った。	点検を継続して行っていく。	
7 人材の育成計画										
	公園の管理運営に携わる職員の資質向上についての考え方(方針)	技術力と機動性のあるマルチスタッフの育成	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・研修プログラムを、5年間の方針に基づき適宜実施し、更なる内容の充実を図った。具体的実施内容は以下のとおり。 ◆グリーンサポート事業 接遇、造園、花卉園芸、公園管理運営の各分野を専門とする5名のグリーンサポート特別指導員が、第三者的視点による公園の巡回点検や技術指導を行った。	・私たちのノウハウでもある、 ①「公の心」を育み、愛される質の高い公園づくり ②かながわの郷土愛の醸成、新しい喜びの公園づくり ③人と地域とともに育つ公園づくり ④多様な生物が育む資源循環型の公園づくり これらをさらに強化するよう、現在の研修プログラムを見直し内容の充実、PDCAによる公園の品質管理の向上、また時代のニーズに沿った柔軟な発想での新たな研修プログラムの導入により、職員の資質向上を図るとともに、研修方針の実現に努めていく。	1 4 ~ 1 7
		外部評価員による職員教育と自己評価による資質向上	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	◆PDCAチェックシステム 昨年度までの「自己評価システム」の項目見直し等改善を図り、標記のシステムとしてリニューアルして行った。四半期毎にPDCAチェック会議、及び外部評価員によるヒアリング等を実施し、職員間で事業計画の確認、確実実施、履行確認を行った。さらにその中から改善点を見出し、改善目標の設定と改善への取り組みを行うことで、意識改革と資質向上、管理水準の維持ならびに向上に努めた。		
		新たな研修プログラムの導入	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	応募時に提案した新規研修「苦情対応研修」「ボランティアコーディネーター研修」はH22年度までに実施済みであり、研修成果を活かした取り組みを行っている。また「ミーティング実施」に関しては継続して行っている。		

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

事業計画書の内容			実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
公園の管理運営に携わる職員の資質向上についての具体的な計画	接客研修の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・毎日の朝礼等により、公園行事等利用確認、作業の安全確認、伝達事項等、園内情報の共有を行うとともに、挨拶唱和を実施し、気持ちの良い接遇の日常化を目指した。	・今後も継続して朝礼を実施し、気持ちの良い接遇対応の徹底を図るとともに、利用者への対応で提案している、「パークコンシェルジュ」を目指す。また、ロールプレイの継続実施により、的確な初期対応を確立する。	
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・グリーンサポート特別指導員により、新規採用者等の接客研修（挨拶・会話等の教育指導）を実施し、より質の高い意識と接客対応を目指した。		
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	園長等を対象に、グリーンサポート特別指導員による「接客リーダー研修（前期・後期）」を実施し、接客向上に取り組んだ。		
	事務処理研修の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・確実に迅速な事務処理を実施するため、本部職員による事務処理研修、担当者会議（副園長会議、担当者会議等）を行った。	・業務の効率化及び事故防止の観点から、今後も定期的実施する。	
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・個人情報取扱いについては、接客リーダー研修において周知徹底を図った。		
	安全管理研修の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	緊急時対応研修として、発災時の的確な対応を行うための訓練を、座間市消防の協力により実施した。	・発災時の的確な行動の担保及び、二次災害等防止のための訓練を実施する。	
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・公園協会全体講習として、新規職員、資格更新職員を対象に上級救命講習を実施し、応急処置・AEDの取扱方法等を受講した。		
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	刈払機安全講習を受講済みの作業リーダーが、所属の職員に対してOJTを実施した。		
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・労務上の事故防止を目的に、民間の技術教育所において、チェーンソー特別講習を受講した。		
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・職場内におけるKYT（危険予知トレーニング）を適宜実施し、労働上の事故防止に努めた。		
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・樹木の適正管理、及び魅力的な花景観の創出等を目的に、グリーンサポート特別指導員による各種研修を実施した。		
	植物管理研修の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・樹木等の適正管理及び薬剤使用の安全確保を目的に、県農業技術センター主催の防除関係者講習会を受講した。	・安全でより良い景観づくりを目指し、次年度以降も研修を継続していく。	
			計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・外部セミナー等への参加として、(財)公園緑地管理財団や(社)日本公園緑地協会主催の講習会等に対象職員を参加させ、情報の共有及び各公園への伝達により効果的効率的な公園の運営管理を実施した。		
	公園マネージメント研修の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・園長が主体となり、所属職員の意識改革及び業務確認、ならびに安全確認、進捗状況の確認を目的としたミーティング（全体会議）を月例で実施した。	・今後も、所属職員に公園管理運営方針と実施方法等を浸透させ、提案事項の確実実施を目指す。	
		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・公園の利用促進を図るため、利用促進担当者会議を行って意識を共有した。			
利用促進研修の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・今回の基礎的な研修を基に、より具体的な手法を学ぶための研修を実施していきたい。			
その他講習会等への参加		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	外部依頼の「グリーンコネクション2011」講習会に谷戸山公園職員を講師として派遣し、当公園のピオトープ事例について紹介し、職員の自己研さんとともに公園のPRを図った。	外部依頼への対応に留まらず、公園のPR、職員の自己研さんのための講習等の開催についても検討していく。		
公園独自研修の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	所内会議の際に、職員の生物への知識向上と園内生物の把握を図るための「エコアップ研修」を行った。	引き続き実施し、知識向上等を図る。		
9 公園の安全管理										
園内施設全般の安全管理方策	各種施設点検の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	日常巡視による施設点検や施設点検パトロールを行い、安全確保に努めた。	点検を継続しながら、施設の状態の経年変化に合わせ点検内容・項目を随時更新していく。	
	各種マニュアルの活用と整備		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	公園管理マニュアル等を改正し、安全管理の強化を図った。	各種マニュアルの活用と必要に応じて整備、修正を図っていく。	
	点検と連動した速やかな施設修繕の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	日常点検等により発見した施設の老朽箇所などは速やかに修繕を行った。	重点的な施設点検と速やかな修繕を行っていく。	
	施設賠償責任保険への加入		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	施設賠償責任保険への加入をしている。	継続していく。	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

事業計画書の内容			実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25				
主な施設の安全管理方策	樹林地の重点パトロール実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	園路に隣接したエリア等は倒木の危険性も高く、重点的にパトロールを実施した。	枯木や老木の発見のため重点的にパトロールを行う。		
	火災防止のための草地の冬季刈込実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	運営会議で時期・方法を討議することで、生き物の生息環境を保護しながら、野鳥の原っぱ、休耕田など冬季刈込を実施した。	生き物の生息状況をみながら、作業時期、作業範囲等を検討する。	7	
	木道の転落・スリップ防止のための重点点検・清掃の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	スリップ防止看板の設置、わきみずの谷湧水地付近木道やデッキ補修、また、落葉期や強風後には木道の落枝葉除去、降雪後は除雪作業等の点検・清掃を行った。	経年変化による老朽化に注意を払いながら点検・清掃を行っていく。特にスリップ防止テープの破損には注意を払う。	17	
	「つまづき」、転倒、転落防止のための重点点検の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	園路のぐらついた緑色の接着固定、階段部で腐った丸太の補修、段差か所の注意喚起を行った。	利用頻度の高い場所や急な階段部などは重点的に点検していく。	17	
	建物施設の防火・防犯対策の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	施設の夜間警備システム等により対策を実施するとともに重要物品はカギかけ保管を行った。	継続して行っていく。		
	広場の植栽木の枯枝防止・不陸点検		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	日常巡視による枯枝点検、強風後の確認を行い枯れ枝等は速やかに除去した。また、大雨等による園路浸食はその都度補修した。	利用頻度の高い広場、大雨による浸食か所などは重点的に点検・防止に努める。	17	
	施設運営面での安全管理方策	作業スタッフの安全確保		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	K・Y・Tトレーニングの導入により、事前の危険予知の把握などに努め、安全を確保した。また、他地区の事故報告などは職員全員に周知し注意喚起した。	引き続きK・Y・Tを行うとともに、情報の共有化を図る。	
		利用者に対する安全確保		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	園路際の樹木伐採の際には、看板による周知や現場に警備員を配置するなど安全に配慮した。また、スズメバチの巣は速やかに除去するとともに、看板、バリケード等で囲い、安全確保を図った。	継続して行っていく。	17
		ボランティア活動における安全確保		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	里山保全隊においては、スズメバチに十分配慮して活動内容、場所等を選定した。	継続して行っていく。	
	防犯対策の実施	昼間の防犯対策： 利用者との連絡体制の確保・維持管理上の配慮・地域との連携・年末年始の防犯体制の確保		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	年末年始の警備員への説明会、職員の自宅待機等により防犯対策を図った。	特別警備を通じて警察との連携が強化されたので今後も継続して行っていく。	
		夜間の防犯体制： 警備業者による園内巡回警備・警備業者への指導、連絡体制の徹底		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	駐車場の車止め破損事故が発生し警察や警備業者と連携して迅速な対応をした。	連携体制の維持、強化を図り防犯対策をとる。	
	10 利用者への対応										
接遇対応及びその研修等	改善に向けた取り組み： 朝礼でのあいさつ唱和・内部研修等による公園及びその周辺情報の取得・特別指導員による接遇研修と接客対応評価指導		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	特別指導員による接遇研修を園長及び副園長が、受講し、職場会議等で他の職員へ周知した。また、毎朝の朝礼でのあいさつ唱和を行っている。	来園者と親しみの持てる関係作りのため、気持ち良い挨拶を心がける。	13、17	
	苦情・要望の記録と土木事務所への報告		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	アンケートボックスや直接の意見・要望等は月毎に集計し土木事務所へ報告し必要に応じ改善を図った。	継続的な苦情・意見等の把握と改善を図っていく。		
	公園協会全体で、各公園の事例を共有するシステムを構築		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・苦情の処理はファイルメーカーによるデータベース化に取り組んでいる。また、対応方策について、職場会議で議論し意識の共有化を図っている。	今後も、利用者サービス向上のため、研修等を通じて人材の育成を図る。職員全員が情報を共有化し意識を高めていく。	17	
利用者への公園利用指導及びその研修等	苦情対応のロールプレイング研修の実施や他の公園職員との合同勉強会の開催		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	接遇のリーダー研修においてロールプレイングを実施した。苦情対応については、他公園との情報の共有化に努めた。	他の公園と共通するものは、情報の共有化、対応の共通化を図る。		
	パンフレットやウェブサイトによる、親切丁寧な有料施設等の受付案内		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	各種パンフレット類やホームページは、写真や内容をよりわかりやすく変更しパークセンター、里山体験館で配布するほかログハウスにも置いた。	今後も、わかりやすい写真や最新情報を取り入れる。	26	
利用者ニーズの把握と反映	関係法令やルールに関わる内部研修の実施や、他公園との合同勉強会による事例と情報の共有		調整中	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	毎月の職場研修において、Q&A資料を作成配布し、内部研修を行った。	今後も、公園の課題に応じた研修を検討する。		
	日々のコミュニケーションや電話、手紙、メール、アンケート等による意見の把握と反映、改善		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	管理事務所に常設のアンケートボックスや利用者満足度調査、窓口への直接意見などを通じて利用者の意見・要望の把握を行った。要望等は全職員で共有し、改善に努めた。伝説の丘からの丹沢の山並み看板の設置の要望があり、設置し、多くの反響を得た。	引き続きに把握と対応を図っていく。	17	
	外部評価による評価と業務改善		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	四半期ごとの「PDCAシステム会議」及び半期ごとの外部評価ヒアリング等を通してPDCAサイクルにより、取り組みの現状評価と改善実施に努めた。	引き続きのPDCAシステム及び外部評価ヒアリングを継続し、業務改善・向上に努める。		

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

事業計画書の内容			実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
11 利用促進方策										
	谷戸の自然や里山の暮らし、文化に触れ、学ぶことのできるイベントの継続開催	親子で米作り隊、クラフト教室、ネイチャーゲーム、手作り灯り展、谷戸山公園まつり、谷戸山写真展、巣箱作り教室、お飾り作り、自然観察会、パードウォッチング、里山保全隊、花植えたい	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	公園まつり、米作り隊など継続イベントは内容に工夫を加えボランティアと連携し協働で計画どおり実施した。	いずれのイベントも人気が高く定着しているが、さらに工夫をしイベントの質の向上等に努める。	9
新たな利用促進方策		自然環境や生き物、里山文化への探究心を深める場の提供： ・森林、林業講座の開催 ・環境教育指導者の養成のプログラムの実施 ・パークセンター周辺でのピオトープの造成	調整中	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	・森林や里山の理解を深めるためのやとやま講座を4月～11月に全7回実施した。講師は各回運営会議メンバーが担当し、日頃の活動成果を踏まえたものになった。 ・みちくさ広場（ピオトープ地）の生き物調査をボランティアと協働で行い、第二期整備を行った。	・やとやま講座は今後も内容を工夫して継続する。 ・環境教育の講座は、ネイチャーゲーム指導員養成講座なども含めて検討する。 ・生き物観察エリアはモニタリングしながら工夫を加える。	9、18
		誰もが里山の自然を楽しめる場への取組み： ・「森の遊び場」の創出 ・ユニバーサルデーの実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	森の学校をネイチャーゲーム、森のおはなし会の場所として利用した。園路補修や舗装補修を行い車椅子利用拡大を図った。	森の学校は更に使いやすくベンチ等の改良を検討する。「落ち葉プール」は放射能不安のため今年度の実施は見送ったが、今後は状況をみて再開を検討する。車いすが利用しやすいように、園路の舗装改良を進めるとともに、バリアフリーマップを改良する。	9
		ログハウスの新たな利用方法について検討と試行	調整中	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	ログハウスは昨年度改修したが、冷房がないため入口に網戸を設置した。	入口周辺の歩道等の整備を県土木が実施したが更なる改良を要望するとともに、案内看板、自販機等も検討し第三の入り口拠点として、利便性を向上を図る。	17
		閑散期の園内施設の有効活用： ・ヒマワリによる夏期利用の促進 ・石窯等を活用した冬期イベントの開催	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	夏季の利用促進として、花植隊により、パークセンター周辺花壇にひまわり、マリーゴールド、ペゴニア、ケイトウ等多彩な花を育てた。	今後も、多彩な花を育てていく。	18
利用促進のための広報		公園協会独自の広報： ホームページ・公園だより・ポスター・パンフレットなど	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	◆公園協会広報の活用： ・公園協会HP花とみどりの情報サイト運営 ・季節情報誌かながわパークナビ発行（9月・3月） ・県立公園フォトコンテストと写真展開催 ◆公園独自の広報 ・谷戸山写真展開催 ・各種パンフレットを改良印刷 ・HPの一部改良と定期的更新 ・各イベントのポスター、チラシを工夫して作成	今後も、工夫改良して継続する。	19～28
		市の広報への掲載依頼	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	イベント開催前には、市の担当課に広報誌（広報ざま）へ依頼し、掲載した。	継続して掲載を依頼していく。	24
		関係機関と連携した広報： 近隣施設・教育機関・交通機関	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	市公民館や文化センター等関係機関にポスターなどの広報依頼を行っている。また、県立県政Cを通じて記者発表資料等を毎月提供した。	沿線からの誘客を図るために、小田急電鉄等との連携を図っていく。	
		メディアの活用： 新聞・ミニコミ誌・テレビ・ラジオ	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	◆公園協会全体でタウンニュース社への記事掲載委託を行い、谷戸山公園では年間10回掲載した。 ◆公園まつり、灯り展、自然観察会等で新聞、テレビなどの取材に来てもらった。	継続して掲載を依頼していく。	24
12 自主事業の運営										
	自動販売機の設置	利用者の利便性と景観等に配慮した自動販売機の設置	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	東口広場、多目的広場、里山体験館付近に自動販売機を設置し、利用者に清涼飲料水を提供している。	新規設置等については今後検討していく。	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

事業計画書の内容			実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
13 地域や関係機関との連携										
県民及び住民参加、ボランティア団体との協働	座間谷戸山公園運営会議との協働		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	運営会議参加市民団体と協働して、生物・環境モニタリングや自然環境保全活動を行った。	運営会議参加市民団体と協働して継続的にデータを蓄積し、維持管理に反映していく。	1～8
	協働の具体的取組み		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	山野草生育調査、ホタル生息数調査・生息環境整備、カエル類産卵調査・生息環境整備、外来生物駆除活動等の例年の活動を継続したほか、ホトケドジョウ調査、樹林地整備調査、生き物エリア調査を行った。また、ウシガエル駆除については「オタマジャクシプロジェクト」のイベントとして行った。	継続的なモニタリングを行う。特に、樹林地整備地区のモニタリング及び保全活動について重点的に行う。	1～8
地域への貢献	地域の活性化： ・地域イベント、市民活動発表の場 ・収穫物の地域イベントでの活用		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	東口広場は10月に神奈川土建組合などによる「どけんまつり」、地元自治会による「レクリエーション大会」のほかウオーキング会、俳句会、写真会等市民活動の場として利用された。田んぼで収穫したもち米は公園まつりで活用したほか、福祉団体等へ無償配布し地域での餅つき等で活用した。	継続して地域イベントの開催などを支援するとともにもち米の配布等も行う。	27
	市民活動の支援： 自然環境保全活動のサポートなど		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	ホタルの生息環境保全、南谷戸調査保全等を市民団体が継続的に行っており、協働とサポートを行った。	引き続き積極的にサポートをしていく。	1～8
	地域の雇用創出		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	パート職員9名のうち、地元の座間、大和、海老名市在住者は7名だったが8名に増加し、継続雇用した。	引き続き地域の雇用を継続していく。	
	教育活動への協力： ・体験学習の受け入れ ・調査実習や研究活動の場の提供		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	座間西、相模、座間東、谷口中学校の職場体験学習や立野台小総合学習、教職員の職業実習に協力した。大学生の卒論研究の為に資料提供等の対応を3件行った。ガールスカウト等の活動は積極的に受け入れた。	総合学習や学術研究の受け入れなど積極的に行い、教育活動の推進を図る。	27
関係機関（対象管内の他の公園や周辺施設等）との連携	自然環境保全のための連携： 近隣の里山型公園や自然公園ビジターセンター、専門機関との連携		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	七沢森林公園から薪割り機の借用、相模原公園から菖蒲苗の譲渡を泉の森公園からムクロジの木の譲渡を受け、相模三川公園、相模原公園へは餅つき用具の貸し出しを行った。また、ホトケドジョウの生息環境調査を県内水面試験場の専門家の協力を得て行った。	今後も、必要に応じて資料提供等を行い、連携を図る。	27
	周辺公共施設との連携		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	北地区文化センター、座間市公民館、観光協会、市立図書館等と、米作りイベント、クラフト教室、灯り展、おはなし会を共催、連携し、利用の促進を図った。	連携を強めながら継続して開催していく。	
	周辺福祉施設との連携		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	福祉施設での公園利用を積極的に受け入れ、連携を図った。また、田んぼで収穫したもち米を地元福祉施設へ無償配布し支援した。	様々な連携を図っていく。	
	警察・消防との連携		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	継続実施	園内の放置自転車、駐車場での事故に対して、その都度警察へ連絡し解決を図った。また、座間基地関連の警察による警備があり、警察に協力し関係機関と連携して対応した。火気使用イベントの場合消防署へ事前届け出し、万一の協力をお願いした。	今後も迅速な連携対応を図っていく。	
14 提案以外の実施事項										
—	東日本大震災被災地への対応		—	—	実施	—	—	募金箱を設置して被災地に対する募金を募った。	—	
—	台風15号の倒木活用		—	—	実施	—	—	台風で倒れたケヤキの木を利用して丸太イスを作り、設置した。	—	1～8